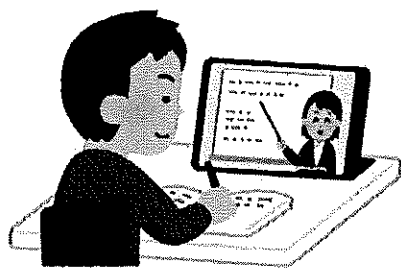




令和8年度

# 学習の手引き

## 2年生



津市立東橋内中学校

## 目次

|                                |       |    |
|--------------------------------|-------|----|
| はじめに                           | ..... | 1  |
| 1. 中学校の勉強について                  | ..... | 1  |
| 2. 家庭学習、家庭学習習慣について             | ..... | 2  |
| 3. 学習評価について                    | ..... | 3  |
| 4. 勉強の仕方、ポイント、アドバイス            | ..... | 5  |
| 5. なぜ勉強する必要があるのか               | ..... | 6  |
| 6. 東橋内中学校独自のインターネットを活用した授業について | ..    | 6  |
| 特別活動について、特別の教科道徳について           | ..... | 7  |
| <b>シラバス</b>                    |       |    |
| ○国語科                           | ..... | 8  |
| ○社会科                           | ..... | 10 |
| ○数学科                           | ..... | 12 |
| ○理科                            | ..... | 14 |
| ○外国語科                          | ..... | 16 |
| ○技術・家庭科(技術分野)                  | ..... | 19 |
| ○技術・家庭科(家庭分野)                  | ..... | 21 |
| ○保健体育科                         | ..... | 23 |
| ○音楽科                           | ..... | 25 |
| ○美術科                           | ..... | 27 |
| ○特別支援教育について                    | ..... | 29 |
| ○国際教室について                      | ..... | 30 |
| おわりに                           |       |    |

## 0. はじめに

中学校の学習では、生徒が将来自立した社会人として自分の人生を主体的に歩いていくための基礎となる「学力」\*1を育みます。その中、令和3年度4月から改訂学習指導要領が全国一斉に実施されています。この改訂により、今までと学習内容と学習評価が大きく変わりました。また、本校では、生徒の潜在的な可能性を見つけ育み、未来を自分の力で切り拓いていける生徒の育成を目指しております。

このことから、改めて東橋内中学校の学習活動、学習評価について保護者の皆様や生徒の皆さんと共有し、生徒一人ひとりにあった適切な指導、評価をしていきたいという思いで本書を作成いたしました。

\*1 「学力」とは、教科の知識や未知の問題に対して継続的に解決する力等のことです。

## 1. 中学校の勉強について

中学校の教科は、国語、数学、社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語の9教科10科目となります。小学校よりも科目数が多くなり、内容もとても難しくなります。小学校に比べて進むスピードも速くなり、授業だけでは追いつかなくなります。そのため、家庭での「予習・復習」が大切です。例えば、「法隆寺」を見学する場合、何も学習せずに観に行くと、ただの古い建物としか思いません。しかし、前もって調べ学習をしておく、「世界最古の木造建築物」や「聖徳太子が建築したこと」など事前に知識を入れて実際に見ることができるので、見方が変わってきます。これが、「予習」のすごさです。予習では、次回どのような内容を学ぶのか教科書などを通じて調べることで、予習しないで授業に臨むときとは異なる気持ちで授業に向かうことができます。

また、授業を受けた後、今回学んだことを自分なりに整理する時間として復習を行います。この授業では、どのようなことを学び、何が大切だったのかを行うのが復習です。この「予習・復習」を行うことで、「自分をコントロールする力（自己調整力、メタ認知）」を育てることができます。

家庭学習は自分との勝負になります。家庭では、ゲームをする時間などが自由にありますが、勉強する気持ちを持って取り組むことにより、自分自身をコントロールする力を身につけることができます。そのためにも毎日家庭学習を行う習慣を身につけることが大切となってきます。

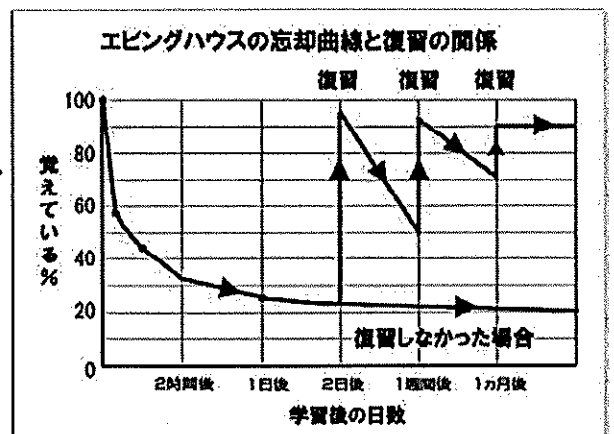
## 2. 家庭学習、家庭学習習慣について

学力を身につけるためには、「主体的に学ぶ力」が必要です。この力は、みなさん一人ひとりの学習計画に基づき、継続的に学習することによって身につけていく力です。そして、授業と家庭学習が一体となって自然と身につけていくものだと考えています。また、毎年中学3年生を対象に行われている全国学力学習状況調査によると、生活習慣と家庭学習習慣は生徒の正答率に影響していることが調査から分かってきました。このようなことから、子どもの学力を付けさせようとしたときに家庭学習やその習慣は不可欠なものとなっています。

Q.なぜ家庭学習をしないといけないのですか？

⇒ A.人は「忘れるのが当たり前」だからです。

- 家でもう一度勉強することで、忘れることを防げます。
- テスト前に一気に思い出すのではなく、毎日コツコツ思い出していく方が、学力UPの効果は上がります。



### <保護者の方へ>

家庭学習の習慣は、お子さまの生活リズムを整えることにも効果を発揮します。

「毎日、〇時～〇時までは家庭学習の時間」と、家庭で設定することをお勧めします。



褒めることも大切



依存から脱けだそう

### 3. 評価について

令和3年度から学習指導要領が改訂され評価の観点が「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」

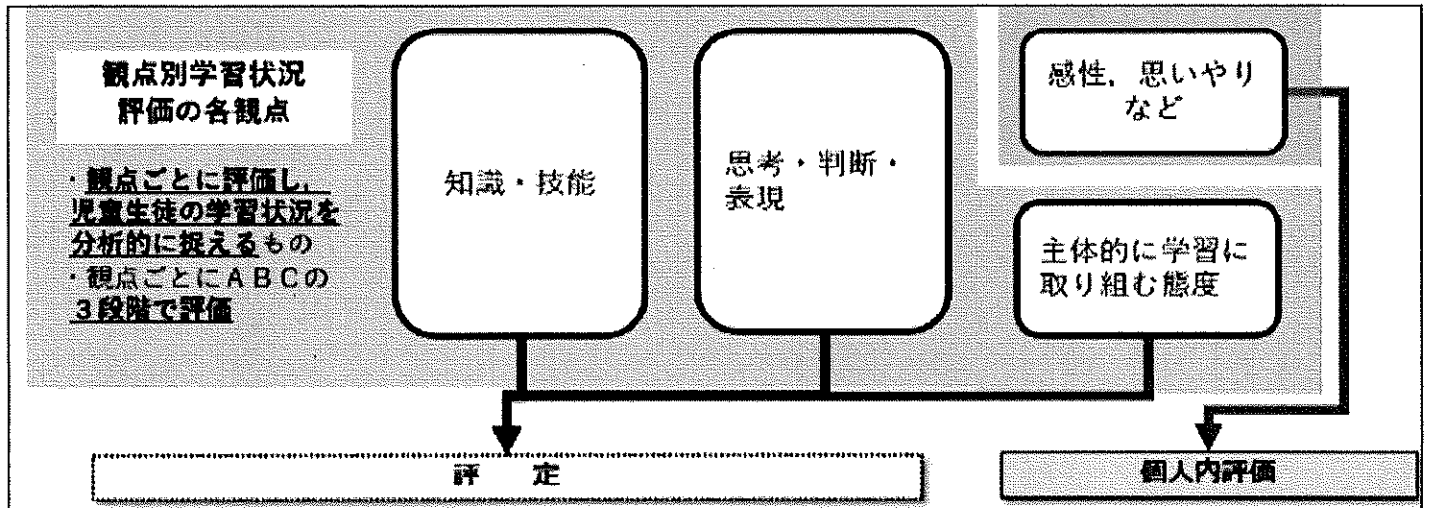
「主体的に学ぶ力」の3観点となりました。

「知識・技能」では、各教科等における知識及び技能の習得状況を評価します。

「思考力・判断力・表現力」では、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

「主体的に学ぶ力」では、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価します。また、それぞれの項目に対してA、B、Cの評価をします。

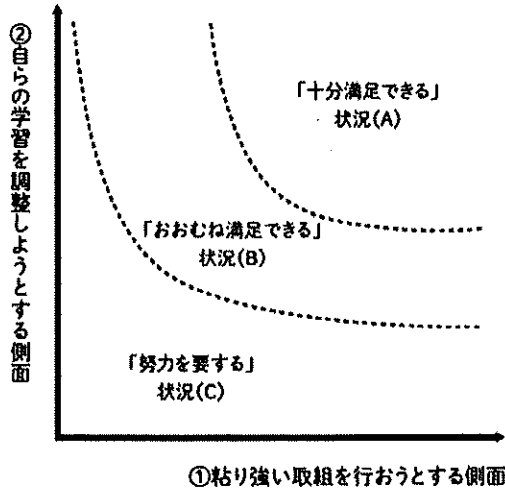
評価のイメージ図



#### 「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

① 粘り強い取り組みを行おうとする側面は、目標達成までやり抜く力を指します。

② 自らの学習を調整しようとする側面は、学習の目的を達成するために工夫することを指します。

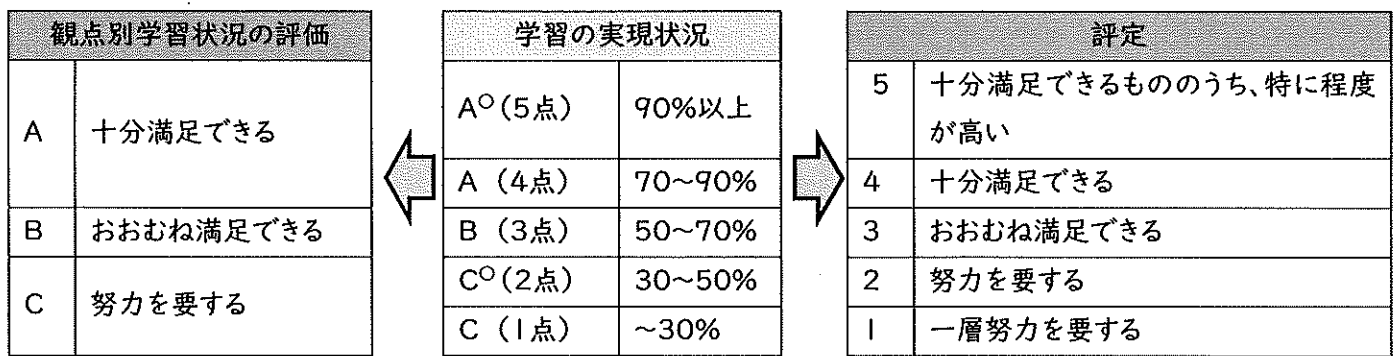


\* 文部科学省国立教育政策研究所「指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料」

具体的な評価の一覧【通知表に載るもの】

| 観点別学習状況評価<br>【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に<br>学ぶ力】 | 評定   |
|--|--|
| A:「十分満足できる」状況と判断されるもの                          | 5:「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの               |
| B:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの                        | 4:「十分満足できる」状況と判断されるもの<br>3:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの |
| C:「努力を要する」状況と判断されるもの                           | 2:「努力を要する」状況と判断されるもの<br>1:「一層努力を要する」状況と判断されるもの   |

具体的な評価の方法(あくまでも1例です)\*学習の内容によりパーセンテージは変わることがあります。

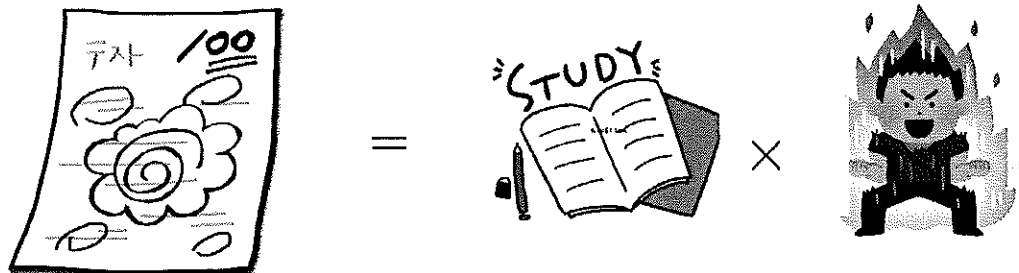


| 3観点の合計得点 | 15点 14点 | 13点 12点 11点 | 10点 9点 8点 | 7点 6点 5点 | 4点 3点 |
|----------|---------|-------------|-----------|----------|-------|
| 評定       | 5       | 4           | 3         | 2        | 1     |

#### 4. 勉強の仕方、ポイント、アドバイス

勉強の仕方に悩む生徒や保護者の方が多いように感じます。そこで、効果的な勉強方法について3つ紹介します。1つでも参考になればと思います。

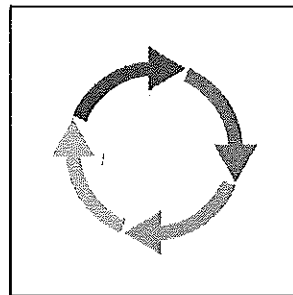
その1 がくしゅうせい 学習成果 = なに 何を × いよく 意欲



最初に言えることは、勉強方法や勉強の仕方だけにとらわれていても成果は出ません。まず、あなたが、どんな気持ちで勉強に取り組むのが大切です。例えば、よい例としては、次のテストで100点を絶対に取りたい。前回のテストよりも10点伸ばしたい。授業をもっともっと理解したい。などが考えられます。逆に、めんどくさい、やらされている、早く終わりたい、などのマイナスの気持ちを持っていると結果もマイナスになってしまいます。

その2 こと 3つの異なるワークを1回するより、かい 同じワークを3回解く

勉強が苦手だけれども、少しでもできるようになりたい!と思う人はぜひこのことを実践してみてください。逆になぜこのことをしないのに勉強がわからないと言っているのかがいつも不思議に思っています。1冊の問題集を1回ただけでは、絶対に覚えることはできません。間違った問題を何回も解くことで理解が深まります。大切なことは何回も同じものに出会うこと。勉強も同じことが言えますよ。



その3 べんきょうじかん 勉強時間より べんきょうりょう 勉強量で お 終わりを き 決める

とにかくすぐに勉強に取り掛かるのもいいですが、まず、今日勉強する見通し(予定)を立てましょう。例えば、「この問題ができるまでやろう」や「15ページできるまでやろう」「ここまで終わらなかつたら寝ない」という意志固めを最初にすることです。逆に、「〇〇時までやろう」というのは、とにかく時間さえきつてしまえば終わってしまいますので、椅子に座っていたら時間がきて終わってしまいます。そうすると力はないけど勉強した気持ちだけになってしまい、結果何の問題も解けなくなってしまいます。また、そうなってくるとだんだん勉強をさせられていると自分で認識してしまいます。常に、時間ではなく、勉強量で終わりを決めましょう。



## 5. なぜ勉強する必要があるのか

### べんきょう いみ じぶん ひょうげん 勉強をする意味①=自分らしく表現するため

あなたの人生は、あなた自身が組み立てて進んでいく道筋です。このことは、「自己実現」といい、あなたが将来やりたいこと、なりた職業に近づくことをいいます。勉強することは、あなたがあなたらしい人生を送るためには、必要なことです。

例えば、「〇〇の仕事に就きたい」と言っているだけで、その仕事に必要な力が身につけていなかったとしたらどうでしょう？いつまでたっても、その職業には就けません。つまり、あなたが勉強しないと、「自己実現」できないのです。

### べんきょう いみ こうきしん しこうりょく ひょうげんりょく こうじょう 勉強をする意味②=好奇心や思考力、表現力の向上

勉強をする意味①でも、書いたように、「将来のために、自己実現のために、良い成績を取る」ということはあります。しかし、「テストで良い点数を取るためだけに勉強をする」ではありません。中学校で様々な教科を学ぶことには大きな意味があります。

(ア) 自分の興味関心がどこにあるのかを、自分で分析したり、その好奇心を自分で伸ばしたりする。

(イ) 課題を解決するための様々な考え方を学ぶことで、思考力を高める。

(ウ) 自分が学んだことや考えたことを相手に分かりやすく伝えることで、表現力を身につける。

これらのように、中学校の間に様々な教科に出会うことで、テストで点数を取る以上に大切なことを身につけることができるのです。

## 6 東橋内中学校独自のインターネットを活用した授業について

・一人1台タブレットが導入され、授業内でも調べ学習やタブレットを使用した授業が多くなります。各授業での使用方法につきましては各教科担任から指示があると思いますので、その指示を聞いて使用してください。またそれに伴って、「ロイノート」というアプリを利用します。課題提出や友人同士でのまとめ作業など様々な用途に使用できるアプリとなっております。

・e-Learning ポータルサイトでは、津市教育委員会からでている動画など自宅学習で使用できるサイトが上がっています。ぜひ、活用して自宅学習を実りあるものにしてもらいたいと思います。

ログイン方法は授業内でお知らせした ID とパスワードをサイト内に打ち、ログインしてください。

ID とパスワードを忘れそうな人は下のところに書いておいてください。

ID: \_\_\_\_\_

パスワード: \_\_\_\_\_

## 特別活動について

特別活動とは、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質能力を育成することを目指す教育です。

【具体的な教育活動】

| 特別活動  |   |  |
|---|---|--|
| 学級活動  | 生徒会活動   | 学校行事   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・学級や学校の生活上の問題解決</li><li>・学級内の役割の自覚</li><li>・一人一人のキャリア形成</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営</li><li>・学校行事への協力</li><li>・ボランティア活動などの社会参画</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・入学式、始業式、終業式、終了式卒業式などの儀式</li><li>・文化祭</li><li>・体育祭</li><li>・修学旅行</li><li>・職場体験学習</li><li>・ボランティア活動</li></ul> |

## 道徳教育について

道徳教育は、よりよく生きるために、以下の4つの内容を学習し、人間としての生き方についての考えを深めることが目的です。

道徳教育の内容(年間35時間)

- A 主として自分自身に関する事
- B 主として人との関わりに関する事
- C 主として集団や社会との関わりに関する事
- D 主として生命や自然崇高なものとの関わりに関する事

# 国語 2年生 シラバス

## 1 国語の目標

社会生活における人との関わりの中で、国語を正しく使って伝え合う力を高め、考えたり想像したりする力をつける。

## 2 国語を学ぶ意義

- ・生活の中にある言葉や文章を理解できるようになる。
- ・相手の心情（気持ち）を分かろうとする心を持てるようになる。

## 3 評価の観点について

| 観点     | 知識・技能   | 思考力・判断力・表現力  | 主体的に学習に取り組む態度                                 |
|--------|---|--|---|
| 趣<br>旨 | <p>知識：日本の言葉の特徴や使い方（漢字・文法・慣用句・故事成語・ことわざなど）について理解することができる。</p> <p>技能：話や文章に書かれている情報を正確に理解することができる。</p> | <p>A「話すこと・聞くこと」において、スピーチなどの活動で、今までの学習を生かして自分の考えを他者に分かりやすく発信することができる。また、他者の考えを大切にして、相手が何を伝えたいのかを聞き取ることができる。</p> <p>B「書くこと」において、作文や記述などの活動で、習った漢字や正しい文法を使って、他者に伝わりやすい文章を書くことができる。</p> <p>C「読むこと」において、文学的文章では、さまざまな作品を読み、それぞれの人物の心情（気持ち）や作品の主題（テーマ）をとらえ、自分の経験と照らし合わせたり、他者の意見を聞くことで自分の読みや考えを深めることができる。説明的文章では、文章の構成や筆者の主張を読み取り、筆者の物事の見方を参考にしながら新たな見方・考え方を持ち、自分の考えの幅を広げることができる。</p> | 日本の言語文化を大切にし、他者の意見を尊重しながらも自分の思いや考えを伝えようとしている。 |

## 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：課題に対して、あきらめずに取り組むこと  
例：自分の考えをさらに深めるために、友達に聞いたり、共に考えたりすること
- ② 国語を学ぶ意義 例：学習したことを実際の生活に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

## 5 国語の勉強アドバイス

- ① 学校で勉強した部分は、復習としてそのつどワークを自分で進めましょう。
- ② 漢字の学習は、予習としてどんどん自分で進めましょう。
- ③ 普段から、読書の時間を大切にしましょう。
- ④ 音読に力を入れ、教科書の文章を何度も読みましょう。

国語 2年生 学習計画と評価規準について

【学習の年間計画】

| 学期      | 月  | 学習内容 (単元)   | 学習のねらい  |
|---------|----|---|---|
| 1<br>学期 | 4  | ◆オリエンテーション<br>○見えないだけ(知・技)<br>○アイスプラネット(思・判・表C)<br>・敬語(知・技)   | <p>■詩<br/>「見えないだけ」「月夜の浜辺」「鍵」<br/>・速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを工夫しながら音読している。<br/>・詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。<br/>・詩の中の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。<br/>・自分の知識や経験と結び付けて、作者のものの見方について詩に込められた作者のメッセージを読み取り、自分なりの解釈を伝え合うことができる</p> <p>■小説<br/>「アイスプラネット」「ヒューマノイド」「走れメロス」<br/>・場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。<br/>・表現に着目して登場人物の人柄や心情を読み取ろうとしながら作品を読んでいる。<br/>・前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。</p> <p>■説明文・随筆・論説・評論<br/>「クマゼミ増加の原因を探る」「短歌に親しむ」「言葉の力」「字のない葉書」「君は「最後の晩餐」を知っているか」「モアイは語る―地球の未来」<br/>・話や文章の構成や展開について理解を深めている。<br/>・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。</p> <p>■古文・漢文<br/>「枕草子」「平家物語」「徒然草」「漢詩の風景」<br/>・現代語訳や語注を手掛かりに古文を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。<br/>・漢文特有の言葉遣いや調子を意識して朗読している。</p> <p>■漢字・文法・言葉<br/>・用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。<br/>・助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。<br/>・話し言葉と書き言葉について、それぞれの特徴を理解し、表現する際にどのような注意が必要かを考えている。</p> |
|         | 5  | ・単語をどう分ける？(知・技)<br>・魅力的な提案をしよう(思・判・表A)<br>○枕草子(思・判・表C)<br>・熟語の構成/漢字に親しもう1(知・技)                        |   |
|         | 6  | ○クマゼミ増加の原因を探る(思・判・表C)<br>○情報を整理して伝えよう(思・判・表A)<br>・漢字に親しもう2(知・技)<br>○短歌に親しむ/短歌を味わう(思・判・表B・C)           |   |
|         | 7  | ○言葉の力(思・判・表C)<br>・類義語・対義語・多義語(知・技)<br>○メディアの特徴を生かして情報を集めよう(思・判・表B・C)<br>・読書を楽しむ/翻訳作品を読み比べよう(思・判・表B・C) |   |
| 2<br>学期 | 9  | ○ヒューマノイド(思・判・表C)<br>○字のない葉書(思・判・表C)<br>・同じ訓・同じ音をもつ漢字(知・技)<br>・漢字に親しもう3(知・技)                           |   |
|         | 10 | ○モアイは語る―地球の未来(思・判・表C)<br>・適切な根拠を選んで書こう(思・判・表B)<br>○月夜の浜辺(思・判・表C)<br>○源氏と平家/平家物語(知・技)                  |   |
|         | 11 | ○扇の的―「平家物語」から(思・判・表C)<br>○仁和寺にある法師―「徒然草」から(思・判・表B・C)  |   |
|         | 12 | ○漢詩の風景(思・判・表C)<br>○君は「最後の晩餐」を知っているか/「最後の晩餐」の新しさ(思・判・表C)   |   |
| 3<br>学期 | 1  | ・走る。走らない。走ろうよ。(知・技)<br>○立場を尊重して話し合おう(思・判・表A)<br>・漢字に親しもう4(知・技)  |   |
|         | 2  | ○走れメロス(思・判・表B・C)<br>・漢字に親しもう5(知・技)<br>・一字違いで大違い(知・技)<br>○描写を工夫して書こう(思・判・表A)                           |   |
|         | 3  | ○鍵(思・判・表C)<br>・送り仮名/話し言葉と書き言葉(知・技)<br>・国語の学びを振り返ろう(思・判・表A・B)  |   |

## 社会科2年生シラバス

### 1 社会科の目標

広い視野で物事を見て、平和で民主的な世の中を築き上げるための知識・技能の基礎を身に付ける。

### 2 社会科を学ぶことの意義

- ・よりよい社会を築き上げるのは自分であるという自覚を持てる。
- ・自分を大切に、他の人や異なる文化を大切にする心が持てる。

### 3 評価の観点について

| 観点     | 知識・技能   | 思考力・判断力・表現力  | 主体的に学習に取り組む態度                                   |
|--------|---|--|---|
| 趣<br>旨 | <p>知識：<br/>我が国の国土と歴史や現代社会の政治、経済、国際関係に関する事柄を理解する。</p> <p>技能：<br/>社会的事象について調べ、まとめることができる。</p> | <p>思考：<br/>社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>判断：<br/>社会に見られる課題を把握し、解決に向けて複数の立場や意見を踏まえて選択・判断することができる。</p> <p>表現：<br/>自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生に相手意識をもって、わかりやすく伝えることができる。</p> | <p>世の中の様々な事柄について進んで学習し、よりよい社会の実現に関わろうとしている。</p> |

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ①粘り強さ(例):社会科の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと。  
(例):自分の考えを更に深めるために、友達の見解も聞き、一緒に答えを導き出すこと。
- ②自らの学習の調整(例):振り返りを使って、課題解決の過程を振り返り、評価・改善をしようとしていること。
- ③社会科を学ぶ意義(例):社会科で学んだ事柄を次の学習や実際の生活に生かそうとしていること。

### 5 社会科の勉強アドバイス

- ①授業で学んだことをワーク(問題集)を使って何度も復習しましょう。
- ②暗記するだけでなく、資料などを見て、課題に取り組みましょう。
- ③覚えたことを、簡単な言葉に置き換え、自分の言葉で説明できるようにしましょう。

社会科 2年生 学習計画と評価基準について

| 節            | 学習時期            | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--------------|-----------------|--|--|--|
| 日本の諸地域       | 4月<br>～<br>10月  | 観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。また、地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。  | 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 | 地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。                     |
| 武家政権の動き(2)   | 11月<br>～<br>12月 | 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などを基に、幕府と藩による支配が確立した。産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、文化が生まれたことを理解している。   | 近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。   | 近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。                    |
| 世界政権の動き(3)   | 12月             | 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行きづまりを見せたことを理解している。  | 社会の変動や欧米諸国の接近による課題、幕府の政治改革による課題、新しい学問・思想の動きによる課題を見出し、多面的・多角的に考察し、表現している。     | 社会の変動や欧米諸国の接近に関する課題、幕府の政治改革に関する課題、新しい学問・思想の動きに関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。 |
| 近代国家の歩みと国際社会 | 1月<br>～<br>3月   | 欧米諸国が近代社会を成立させて、アジアへ進出したこと、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したこと、立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したこと及び我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 | 事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の様子と、近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。            | 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。                    |
| 具体的な評価の方法    |                 | 授業の様子、単元テスト・定期テストなど  | 授業の様子、単元のまとめ、プレゼンテーション、単元テスト、定期テストなど   | 授業の様子、振り返り、単元のまとめ、単元テスト、定期テストなど  |

## 数学科2年生シラバス

### 1 数学科の目標

数学的活動を通して、数学的に考える力をつけることを目指す

### 2 数学を学ぶ意義

生活の中にある数字や式の意味を理解できるようになる。  
物事を順序だてて考え、大切なことを見失わないようになる。

### 3 評価の観点について

| 観点     | 知識・技能  | 思考力・判断力・表現力   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--------|--|---|--|
| 趣<br>旨 | <p>知識：数量や図形などについて決まりを理解することができる。</p> <p>技能：問題を数字や式に表して、計算することができる。</p> | <p>思考：課題を解決するために、比べたり、決まりを見つめたり等することができる。</p> <p>判断：今までの学習の中から今の課題を解決する手段を見つけることができる。</p> <p>表現：自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生にわかりやすく伝えることができる。</p> | <p>数学の楽しさや良さを生活や学習に生かそうとしたり、学習を振り返って次の勉強をより良くしようとしている。</p> |

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：数学の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと  
例：友達の見解を聞き、自分の考えを深めること
- ② 数学を学ぶ意義 例：数学を実際の生活や学習に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

### 5 数学の勉強アドバイス

- ① 学校で学習した内容は、ワークで復習しましょう。
- ② 文章のある問題は絵や図を書いたりして解くようにしましょう。

数学科 2年生 学習計画と評価基準について

| 単元                | 学習時期      | 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度                        |
|-------------------|-----------|--|--|--------------------------------------|
| 式の計算<br>1章        | 4月～6月下旬   | 数量の関係を文字を用いた式で表したり、簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。     | 式の計算について1年で学んだことに関連づけて生活や学習に生かすことができる。                     | 文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。      |
| 連立方程式<br>2章       | 6月下旬～7月中旬 | 連立方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解することができる。簡単な連立方程式を解くことができる。         | 連立方程式について一元一次方程式で学んだことに関連づけて生活や学習に生かすことができる。               | 連立方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。        |
| 一次関数<br>3章        | 7月中旬～9月   | 一次関数について理解することができる。二元一次方程式を関数を表す式とみるることができる。               | 一次関数について学んだことを生活や学習に生かすことができる。                             | 一次関数を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。         |
| 図形の調べ方<br>4章      | 10月～11月中旬 | 平面図形の性質を理解することができる。証明の必要性和意味及びその方法について理解することができる。          | 図形の調べ方について学んだことを論理的に説明することができる。                            | 平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。      |
| 図形の性質と証明<br>5章    | 11月中旬～12月 | 直角三角形の合同条件について理解することができる。証明の必要性和意味及びその方法について理解することができる。    | 図形の性質と証明について学んだことを生活や学習に生かすことができる。                         | 三角形や平行四辺形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。 |
| 場合の数と確率<br>6章     | 1月～2月中旬   | 場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解することができる。確率を求めることができる。           | 場合の数と確率について学んだことを学習に生かすことができる。                             | 確率を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。           |
| 箱ひげ図とデータの活用<br>7章 | 2月中旬～3月   | 箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解することができる。データを整理し、箱ひげ図で表すことができる。        | 箱ひげ図とデータの活用について学んだことを学習に生かすことができる。                         | 箱ひげ図や四分位範囲を活用した問題解決の過程を振り返って検討できる。   |
| 方法<br>具体的な評価の方法   |           | ・定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での発言・レポート等の提出物・パフォーマンステスト・プレゼンテーションテスト | ・定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での発言・レポート等の提出物・パフォーマンステスト・プレゼンテーションテスト | ・授業中の発言・レポート等の提出物・授業の振り返り            |

## 理科2年生シラバス

### 1 理科の目標

自然や様々な現象に関わり、見方や考え方を働かせながら、見通しをもって観察や実験を行う活動を通して、科学的に考えるために必要な力をつける。

### 2 理科を学ぶ意義

- ・生活の中にある事柄や現象について正しく学ぶことで、適切に判断し、行動できる。
- ・科学的に物事を考えることができるようになる。
- ・探究する能力や態度を身に付けることで、主体的、創造的に生きていく力を付けることができるようになる。

### 3 評価の観点について

| 観点     | 知識・技能   | 思考力・判断力・表現力   | 主体的に学習に取り組む態度                            |
|--------|---|---|--|
| 趣<br>旨 | <p>知識：自然の様々な現象について理解する。</p> <p>技能：科学的に考えるために必要な観察や実験に関する基本的な技能を身につける。</p> | <p>思考：課題に対して、科学的な根拠をもとに考えることができる。</p> <p>判断：学習により身についた様々な実験方法や分析方法の中から、課題を解決するための正しい方法を決定することができる。</p> <p>表現：観察や実験を通して自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生にわかりやすく伝えることができる。</p> | <p>自然の様々な事柄や現象に進んで関わり、科学的に考えようとしている。</p> |

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：課題に対して、科学的に考え、あきらめずに取り組むこと  
例：自分の考えをさらに深めるために、友達に聞いたり、共に考えたりすること
- ② 理科を学ぶ意義 例：学習したことと生活の中にある科学を結び付けていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

### 5 学習のポイント

・学習の振り返りをするときには、授業前の自分の状態と授業後の自分の状態を比べましょう。そして、「授業で分かったこと」は何なのか、また「授業を受けたがまだ分からなかったこと」は何なのかを表現しましょう。

理科 2年生 学習計画と評価規準について

| 領域            | 学習時期     | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---------------|----------|---|--|---|
| 化学変化と原子・分子    | 4月～10月   | 化学変化を原子や分子のモデルと結びつけながら、様々な化学変化についての基本的な考えやきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。                | 物質の成り立ちや化学変化について、見通しをもって解決する方法を計画して観察、実験などを行い、原子や分子と結びつけてその結果を分析して結論づけ、化学変化における物質の変化を発見して表現しているなど、科学的に考えている。   | 物質の成り立ちや化学変化に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。  |
| 生物の体のつくりとはたらき | 9月～10月   | 生物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞のつくりの特徴についての基本的な考えやきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。         | 生物の体のつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を計画して観察、実験などを行い、その結果を分析して結論づけ、生物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を発見して表現しているなど、科学的に考えている。 | 生物の体のつくりとはたらきに関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。 |
| 電流とその利用       | 10月中旬～1月 | 電流や磁界に関する事柄・現象を日常生活や社会と結びつけながら、様々な電氣的現象や磁氣的現象についての基本的な考えやきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 | 電流や磁界に関する現象について、見通しをもって解決する方法を計画して観察、実験などを行い、その結果を分析して結論づけ、規則性や関係性を発見して表現しているなど、科学的に考えている。                     | 電流や磁界に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。         |
| 地球の大気と天気の変化   | 1月～3月    | 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象や自然災害についての基本的な考えやきまりを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。                   | 気象や自然災害について、見通しをもって解決する方法を計画して観察、実験などを行い、その結果を分析して結論づけ、天気の変化についての規則性や関係性を発見して表現しているなど、科学的に考えている。               | 気象に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。            |
| 具体的な評価の方法     |          | 行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、単元テスト・定期テストなど   | 発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、単元テスト・定期テストなど   | 行動観察、発言、発表、自己評価、パフォーマンステスト、レポート、ワークシートなど                        |

## 外国語科 2 年生シラバス

### 1 外国語科の目標

簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す

### 2 外国語を学ぶ意義

- 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるため
- コミュニケーションを行う目的や場所、状況などに応じて、表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けるため
- 相手意識を持ちながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるため

### 3 評価の観点について

| 観点     | 知識・技能  | 思考力・判断力・表現力   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--------|--|---|--|
| 趣<br>旨 | <p>知識：英語の特徴やきまりに関する事項を理解することができる</p> <p>技能：実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、その内容を捉える技能を身に付けることができる</p> | <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる</p> | <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている</p> |

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：言語活動を粘り強く行い、あきらめずに課題解決しようと取り組むこと  
例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝えようとしている
- ② 外国語を学ぶ意義 例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている
- ③ 自らの学習の調整 例：振り返りカードを使って、学習計画や自分への振り返りを行うことで、評価・改善しようとしていること

### 5 外国語の勉強アドバイス

- ① 振り返りカードをポイントに従って、たくさん書きましょう。自己評価につながります。
- ② パフォーマンステストに向けては、しっかり準備をしましょう。  
筆記テストだけが評価されるわけではありません。
- ③ 話す、書くなど表現する機会がたくさんありますが、積極的に取り組みましょう。
- ④ 宿題、プリントなど、課題を忘れずこなすようにしましょう。

外国語科 2年生 学習計画と評価基準について

| 節                | 学習時期   | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|------------------|--------|---|--|---|
| Unit 0           | 4月     | <p>【知識】過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】過去形を用いた文の理解をもとに、春休みにしたことやその感想について、伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。</p>   | <p>クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしている。</p>       | <p>クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしようとしている。</p>      |
| Unit 1           | 4・5月   | <p>【知識】未来を表すbe going toやwillを用いた文、&lt;showなど+人+もの&gt;、&lt;call+A+B&gt;の文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】未来を表すbe going toやwillを用いた文、&lt;showなど+人+もの&gt;、&lt;call+A+B&gt;の文の理解をもとに、これからの予定や計画、旅行の報告などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話す技能を身につけている。</p> | <p>留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話している。</p>                                      | <p>留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</p>                                      |
| Unit 2           | 5・6月   | <p>【知識】接続詞when、if、because、thatを用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】接続詞when、if、because、thatを用いた文の理解をもとに、時や条件、理由や考え・意見などを伝え合う技能を身につけている。</p>  | <p>ALTの先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書いている。</p>         | <p>ALTの先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。</p>         |
| Unit 3           | 6・7月   | <p>【知識】不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】不定詞を用いた文の理解をもとに、何かをする目的や感情の原因、すべきことや大切なことなどについて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。</p>   | <p>将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書いている。</p>   | <p>将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。</p>   |
| Stage Activity 1 | 7月     | <p>【知識】Unit 3までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】Unit 3までの学習事項を用いて、いちばん好きな日本食についてその特徴や好きな理由を整理し、メモにまとめて話す技能を身につけている。</p>  | <p>自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話している。</p>                                | <p>自分のことをよりよく知ってもらうために、いちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を整理し、聞き手の立場に立って話そうとしている。</p>                                |
| Unit 4           | 9月・10月 | <p>【知識】have to、助動詞must、動名詞の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】have toや助動詞must、動名詞の理解をもとに、しなければならないことや決まりごと、楽しんでいることなどについて話す技能を身につけている。</p>  | <p>海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。</p> | <p>海外からの生徒に日本でのホームステイを楽しんでもらうために、日本の生活習慣やマナーとホームステイ先で取るべき行動について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</p> |

|                  |         |  |   |   |
|------------------|---------|--|---|---|
| Unit 5           | 10月・11月 | <p>[知識] 〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be動詞+形容詞+that〉の文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be動詞+形容詞+that〉の文の理解をもとに、どのようにしたらよいかや、確信やうれしいことなどについて話す技能を身につけている。</p>   | <p>だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。</p> | <p>だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。</p> |
| Unit 6           | 12月・1月  | <p>[知識] 比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 比較表現を用いた文の理解をもとに、複数ものを比べて伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。</p>  | <p>聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。</p>                             | <p>聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</p>                              |
| Stage Activity 2 | 1月      | <p>[知識] Unit 6までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] Unit 6までの学習事項を用いて、自分の学校や学校生活について話す技能を身につけている。</p>   | <p>自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明している。</p>  | <p>自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明しようとしている。</p>  |
| Unit 7           | 2月・3月   | <p>[知識] 受け身の文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 受け身の文の理解をもとに、世界遺産などについて事実を伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。</p>   | <p>日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。</p>                        | <p>日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。</p>                         |
| Stage Activity 3 | 3月      | <p>[知識] Unit 7までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] Unit 7までの学習事項を用いて、自分の立場を明確にして、意見を述べる技能を身につけている。</p>   | <p>自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合っている。</p>   | <p>自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合おうとしている。</p>  |
| 具体的な評価の方法        |         | <p>① 授業中に生徒の言語活動の取り組み状況を観察する。(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>② 課題で提出した英文の評価をする。(知識・技能)</p> <p>③ Mini Activityの活動で使用したワークシートやノートで理解度や取り組み状況などを評価する。(知識・技能)</p> <p>④ Unit Activityの活動で使用したワークシートやノートで理解度や取り組み状況などを評価する。(思考・判断・表現)</p> <p>⑤ 本文の音読を評価する。(知識・技能、思考・判断・表現)</p> <p>⑥ 本文理解や言語活動の取り組み状況や理解度をパフォーマンステストで評価する。(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>⑦ 本文の内容について聞いたり読んだりしたことやテーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているかどうか、筆記テストをする。小テスト/中間・期末考査など(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>⑧ 単元末に授業の活動のまとめとしてのプレゼンテーションで評価をする。(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> |   |   |

## 技術・家庭科（技術分野）2年生シラバス

### 1 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

### 2 技術分野を学ぶ意義

生活や社会を支える技術を理解できるようになる。  
生活や社会の中で見つけた課題を解決する方法を考え、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて工夫し創造できるようになる。

### 3 評価の観点について

| 観点     | 知識・技能  | 思考力・判断力・表現力  | 主体的に学習に取り組む態度                                     |
|--------|--|--|---|
| 趣<br>旨 | 生活の中で利用されている技術の基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できる。 | 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決することができる。 | よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。 |

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：技術の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと
- ② 技術を学ぶ意義 例：技術を実際の生活や学習に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

### 5 技術分野のアドバイス

- ① 技術に関わる原理・法則を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ② 道具の安全・適切な使い方を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ③ 技術の最適化の視点で考えましょう。

技術・家庭科（技術分野） 2年生 学習計画と評価基準について

| 節         | 学習時期              | 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----------|-------------------|---|---|---|
| 情報の技術     | 1<br>3<br>5<br>回目 | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について説明できる。</li> <li>情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。</li> <li>計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。</li> <li>生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解することができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。</li> <li>問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法等を構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。</li> <li>問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れをもとに計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。</li> <li>技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。</li> <li>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。</li> <li>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。</li> </ul> |
| 具体的な評価の方法 |                   | ・定期テスト・ワークシート・作品  | ・定期テスト・ワークシート・作品  | ・振り返り・授業観察  |

## 技術・家庭科（家庭分野）2年生シラバス

### 1 家庭科の目標

生活の基盤となる家庭や家族の機能を理解し、衣食住などの生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。

### 2 家庭科を学ぶ意義

家庭での生活の自立ができるようになる。  
家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度が育成される。

### 3 評価の観点について

| 観点     | 知識・技能  | 思考力・判断力・表現力   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--------|--|---|--|
| 趣<br>旨 | 知識：生活と技術について理解できる。<br>技能：生活と技術に係る技能を身につけることができる。 | 思考：生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決策を構想することができる。<br>判断：生活や社会の課題の解決策を実践し、評価・改善することができる。<br>表現：生活や社会の課題の解決策の実践・評価・改善を表現することができる。 | よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 |

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。
- ② 家庭を学ぶ意義 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。
- ③ 自らの学習の調整 粘り強い取り組みを行う中で、課題解決に主体的に取り組む、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し実践しようとしている。

### 5 家庭の勉強アドバイス

- ① 学校で勉強した知識・技術は家で積極的に実践しましょう。
- ② レポート等、家庭生活に結び付いた宿題にしっかり取り組みましょう。

技術・家庭科（家庭分野） 2年生 学習計画と評価基準について

| 節                     | 学習時期       | 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度   |
|-----------------------|------------|--|---|---|
| 1章 2編 私たちの衣生活の選択と手入れ  | 4月～6月下旬    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服と社会生活との関わりが分かり目的に応じた着用、個性を生かした着用及び衣服の適切な選択について理解できる。</li> <li>・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。</li> </ul>  | 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について学んだことを生活や学習に生かすことができる。   | 衣服の選択、手入れについて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。                          |
| 2章 生活をも豊かにする（布を用いた製作） | 6月下旬～10月上旬 | 製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに用具を安全に取り扱い製作が適切にできる。   | 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた製作について、学んだことを製作計画や製作や生活に生かすことができる。  | より良い生活の実現に向けて、布を用いた製作について、主体的に取り組んだり振り返って検討して、生活に生かそうとしている。                       |
| 1章 3編 私たちの住まい方        | 10月上旬～12月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解することができる。</li> <li>・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解することができる。</li> </ul>   | ・家族の安全を考えた住空間の整え方について学んだことを生活や学習に生かすことができる。   | 家族や地域の人々と協働しより良い生活の実現に向けて住居の機能と安全な住まい方について課題の解決に主体的に取り組んだり、学んだことを生活や学習に生かすことができる。 |
| 4編 私たちの消費生活と環境        | 1月～3月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。</li> <li>・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</li> <li>・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解することができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・物資・サービスの購入について学んだことを生活や学習に生かすことができる。</li> <li>・自立した消費者としての消費行動について学んだことを生活や学習に生かすことができる。</li> </ul> | より良い生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って検討して、生活に生かそうとしている。               |
| 具体的な評価の方法             |            | ・定期テスト・作品・授業での活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・行動観察  | ・定期テスト・授業での活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容   | ・定期テスト・作品・授業での活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・行動観察・自己評価                                    |

保健体育科 2 年生シラバス

1 保健体育科の目標

- ①運動の楽しさや喜びを知る
- ②運動をして体力をつけることの必要性を知る
- ③自分の課題を見つけることができるようになり、それを友達に相談したり解決できるように話し合ったりできるようになる
- ④試合や競争を通じて、公正に取り組むこと、仲間と協力すること、自分の役割、一人ひとりの違いを知る
- ⑤健康・安全について理解する、健康についての自分の課題に気づく

2 保健体育を学ぶ意義

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康の維持やより良くできるようなスポーツライフを実現する

3 評価の観点について

| 観点                                   | 知識・技能  | 思考力・判断力・表現力   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 頑<br>張<br>っ<br>て<br>ほ<br>し<br>い<br>事 | ①各運動の特性や歴史、技の名称や行い方を理解できる<br>②高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法を理解している<br>③運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している<br>④運動の特性に応じた、基本的な技能を身に付けている | ①自分や仲間の課題を発見する<br>②課題解決に向けて、運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫している<br>③自分や仲間の考えたことを友達や先生に伝えたり、発表したりすることができる（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できている） | ①健康・安全を確保して積極的、主体的に授業に参加しようとしている（出席・遅刻・忘れ物が影響）<br>②試合を行う時に、公正に行う事や仲間と協力したり、自分の役割を果たそうとしている<br>③その日の自分の課題を見つけて、次の授業でよりよくするための工夫をしようとしている（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できている） |

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：健康・運動の自分の課題を粘り強く考え、友達と比較しながら諦めずに解決しようと取り組むこと  
例：苦手な種目にも積極的に取り組むこと
- ② 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って、評価・工夫・改善をしようとしていること  
（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できていること）

5 保健体育の勉強アドバイス

- 【単元別テスト・期末テスト・レポート】
- ①保健の教科書、保体資料ノートの内容を覚える
  - ②種目のルールや何故その種目ができたのか（歴史）を覚える
  - ③自分の課題を解決していくためにどうすればいいのか、レポートにまとめる
- 【実技】
- ①目標達成のために改善すべきポイントを意識しながら活動する
  - ②ほかの人と比較するのではなく、自分がどのくらい上達したのか（タイムならどれだけ縮んだのか）を重視して活動する
  - ③毎回安全かつルールを守り参加する

【学習計画】

|            | 4月～  | 5月～   | 6月～                              | 7月～   | 9月～         | 10月～ | 11月～             | 12月～   | 1月～            | 2月～              | 3月～ |  |
|------------|--|-------|----------------------------------|---|-------------|------|------------------|--|----------------|------------------|-----|--|
| 行う種目       | 異田行動<br>体づくり運動1-3  | 体カテスト | 陸上競技<br>(リレー・<br>短距離走)<br>バレーボール | 水泳<br>体づくり運動4-7   | ダンス<br>器械運動 |      | ソフトボール<br>バドミントン | 陸上競技<br>(長距離走)   | 武道<br>卓球       | サッカー<br>バスケットボール |     |  |
| 毎回の授業ですること | 集合・整列・ラジオ体操  |       |                                  |   |             |      |                  |  |                |                  |     |  |
| 保健編        | 傷害の発生要因<br>交通事故の発生要因<br>交通事故の危険予測と回避<br>犯罪被害の防止<br>自然災害による危険<br>自然災害による傷害の防止 |       |                                  | 共に生きる<br>応急手当の意義と方法<br>生活習慣病の起こり方<br>生活習慣病の予防<br>がんの予防<br>喫煙の害と健康 |             |      |                  | 飲酒の害と健康<br>薬物乱用の害と健康<br>薬物乱用の社会的な影響<br>喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処 |                |                  |     |  |
| 体育編        | 運動やスポーツの効果   |       |                                  |   | 運動やスポーツの学び方 |      |                  |  | 運動やスポーツの安全な行い方 |                  |     |  |

# 保健体育科 2 年生 評価規準について

【評価規準】

| 運動種別               | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--------------------|---|--|--|
| ランニング              | 呼吸の調節を覚え、体の使っているところを認識しながら実践することができる。   | その日に行う運動で使う部位をより意識して毎日練習を行うことができる。   | 健康・安全に気を付けながら、積極的に取り組もうとする。  |
| 体づくり運動             | ・心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことについて、書ったり書き出したることができる。<br>・体のほぐし、呼吸の調節、姿勢の調整、力強い動き、動きを維持する能力を高めることについて、書ったり書き出したることができる。<br>・「心と体をほぐしていること」や「自分の心や体の状態に気づく」、「仲間と積極的に関わろう」ということについて、書ったり書き出したることができる。<br>・体の動きを高めるには、安全で合理的に高める行い方があつて、書いたり書き出したることができる。<br>・体の動きを高めるには、適切な強度、時間、回数、などを考えたり組み合わせる方法があることについて、書いたり書き出したることができる。<br>・運動の組み合わせには、効果のよい組み合わせとバランスのよい組み合わせがあることについて、書いたり書き出したることができる。 | ・体づくりの運動で、「心と体のほぐしや心身の状態に気づく」、「仲間と積極的に関わろう」とことを踏まえて、合理的に運動を行うことができる。<br>・体の動きを高めるために、自己の課題に応じた運動を行うことができる。<br>・学習した安全の面でより気を付けることを、他の学習場面でも活用し、実践に活かすことができる。<br>・仲間と話し合う中で、仲間との関わり方を気付かせて、話し合いに参加することができる。<br>・個人の体力の程度や性別等の違いを考慮して、仲間とともに進捗するための運動を気付かせ、仲間に進捗を促すことができる。 | ・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。<br>・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を助けてようとしている。<br>・一人ひとりの違いを認めようとしている。<br>・なりたいに合った行い方などについての話し合いに参加しようとしている。<br>・健康・安全に留意し取り組もうとしている。                              |
| 行楽登山               | 号令に対する動きを理解し、行動することができる。  | 全員が動きが揃うように動きを見比べ、完成したものを発表することができる。   | 集団行動に意図的に取り組もうとしている。授業の内容や目的に対する課題に自ら気づき、次の授業の活動よりよくするために工夫しようとしている。   |
| 体力テスト              | テストの名称を正しく理解し、自分の力を最大限に発揮することができる。  | 自分と他者の行い方を比べよりよい記録ができるように工夫することができる。   | 体力テストに意図的に取り組もうとしている。自分の記録に対する課題に自ら気づき、今後の自分の記録をよりよくするために工夫しようとしている。   |
| 基礎運動               | ○知識<br>・それぞれの種目や技などにより、主として高まる体力要素が異なることや、技を行うための合理的な動き方を理解することができる。<br>○技能<br>・全身を支えたり突き放したりするための準備の仕方、回転力を高めるための動き方、足さしがりやすくなるための動き方などを理解し、基本的な技の一連の動きを身につけることができる。<br>・学習した基本的な技を応用させて、一連の動きで行うことができる。   | ・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。<br>・自分と友達を比べて、課題に気づき仲間とともに課題を解決することができる。  | ・基礎運動に積極的に取り組むとともに、出来入れのよい技や演技に他者の声かけを促すこと、仲間の動きを助言しようしたり、練習の補助や助言により仲間の学習の補助をしたりしようとしている。<br>・健康・安全に気を配り、自己の課題に気づき、技の完成に向けて工夫した練習を行うようとしている。  |
| 陸上競技（走り、短距離走、長距離走） | ○知識<br>・陸上競技の特性（歩く・走る・跳ぶ・投げる）や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。<br>○技能<br>・短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバンの変換してタイミングを合わせることを理解することができる。<br>・長距離走では、ペースを守って走ることを理解し、走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切った跳びがわかる。   | ・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。<br>・自分と友達を比べて、課題に気づき仲間とともに課題を解決することができる。  | ・陸上競技に積極的に取り組むとともに、種族などを認め、ルールやマナーを守ること、一人ひとりの違いに応じた役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた練習や練習を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配り取り組もうとしている。<br>・また、自分の課題に気づき、今後の自分の記録をよりよくするために工夫しようとしている。                   |
| バレーボール             | ○知識<br>・バレーボールの特性（両面対決、個人対個人で試合をすること）や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。<br>○技能<br>・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前の攻撃をすることができる。<br>・ネット型では、ボールや相手の動作と位置関係などの動きによって適切な場所をめぐる攻撃をすることができる。<br>・パスボール型では、基本的なパス操作と変換での攻撃、ボール操作と空間での守備などによって攻撃をすることができる。（ソフトボール）  | ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。  | ・競技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、一人ひとりの違いに応じたプレイなどを認めようとするなど、一人ひとりの違いに応じた練習や練習を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配り取り組もうとしている。また、自分の課題に気づき、今後の自分のプレイがよりよくなるように工夫しようとしている。 |
| 水泳                 | ○知識<br>・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。<br>○技能<br>・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。<br>・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。<br>・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。   | ・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えていく。   | ・水泳に積極的に取り組むとともに、種族などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分組した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた練習や練習を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配り取り組もうとしている。  |
| 武道                 | ○知識<br>・武道の特性（技を身に付ける、身に付けた技を使って相手と闘う）や成り立ち、伝統的な考え方や、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。<br>○技能<br>・柔道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの効果的な技をすることができる。<br>・剣道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの効果的な技をすることができる。  | ・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。   | 武道に積極的に取り組むとともに、相手や大切にし、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分組した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた練習や練習を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配り取り組もうとしている。   |
| ダンス                | ○知識<br>・ダンスの特性（自己を表現）や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。<br>○技能<br>・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせて、リズムに乗って全身で踊ることができる。  | ・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えていくことができる。また、仲間とともに作り上げたものを発表することができる。  | ・ダンスに積極的に取り組む自分自身を表現しようとしたり、仲間の学習を補助しようとするなど、交流などの話し合いに参加しようとするなど、一人ひとりの違いに応じた練習や練習を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配り取り組もうとしている。   |
| 傷害の防止              | ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生原因、交通事故などによる傷害の防止、自然災害による傷害の防止、応急処置の要と要らないことについて理解し、心身の健康を維持するための行動を身につけている。  | ・傷害の防止に関わる事象や情報から危険の課題を発見し、危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の発生を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを他者に伝えたり、表したりしている。  | ・傷害の防止について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。   |
| 健康診断の予定の通知         | ・健康な生活と生活習慣病などの予防および健康、疾病、薬物乱用と健康について、理解している。   | ・健康な生活と生活習慣病などの予防および健康、疾病、薬物乱用と健康について、理解している。  | ・健康な生活と生活習慣病などの予防および健康、疾病、薬物乱用と健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。  |
| 授業の進め方や学びの仕方       | ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、理解している。   | ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて自分や仲間と話し、それらを他者に伝えたり、表したりしている。   | ・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。  |
| 資料や教材の活用           | 定期テスト・単元別テスト・レポート・実技テスト・授業での成長・授業の様子・提出物  | 授業中の仲間との関わり方・発表・発言・振り返りシート・ロイロノートの内容   | 出席・遅刻・忘れ物・授業中の行動や発言・授業での成長・振り返りシート・ロイロノートの内容   |

## 音楽科 2 年生シラバス

### 1 音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

### 2 音楽科を学ぶことの意義

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を演奏したり聴いたりすることが好きになる。
- ・色々な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、自分でも創意工夫して表現することができるようになる。
- ・美しい音楽を聴いて感動し、色々な音楽を自分から鑑賞することができるようになる。

### 3 評価の観点について

| 観点     | 知識・技能  | 思考力・判断力・表現力   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|--------|--|---|---|
| 趣<br>旨 | <p>知識：音楽を表現・鑑賞するために、その背景にある仕組みや歴史等を理解することができる。</p> <p>技能：創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</p> | <p>思考：その音楽がなぜ美しいと感じたり感動したりするのかを考察することができる。</p> <p>判断：今の自分の現状を分析して課題を見つけ、その解決法を選ぶことができる。</p> <p>表現：より美しく感動的な表現をするために創意工夫をすることができる。</p> | <p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> |

### 4 主体的に学習に取り組む態度について

- ①粘り強さ(例):音楽科の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと。  
(例):自分の考えを更に深めるために、友達の見聞きも聞き、一緒に答えを導き出すこと。
- ②音楽を学ぶ意義(例):音楽科で学んだ事柄を次の学習や実際の生活に生かそうとしていること。
- ③自らの学習の調整(例):課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること。

### 5 音楽科の勉強アドバイス

- ①授業での表現活動（歌唱や楽器演奏など）は、恥ずかしがらず積極的に、他の人の意見も参考にしながら行いましょう。
- ②必要な知識や技能が身につくまで、繰り返し練習し、学んだ内容を自分で使いこなせるようになるまで、粘り強く取り組みましょう

音楽科 2年生 学習計画と評価基準について

| 節       | 学習時期  | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|---------|-------|---|--|---|
| 楽典      | 4月～3月 | 様々な音符や休符、音楽記号など基礎的な名前や意味などを理解している。  | それぞれの記号の特徴をふまえ、演奏でどのような表現がふさわしいか、生み出す効果について考える。          | それぞれの記号の特徴に関心を持ち、ワークシートにまとめるなど主体的に学習活動に取り組もうとしている。        |
| 合唱曲に親しむ | 4～7月  | 合唱を通した音楽の美しさや感動を理解し、楽しみながら合唱することができる。   | 思いや意図を持ってその曲にふさわしい、創意工夫した合唱表現をすることができる。                  | 主体的・共同的に恥ずかしながら合唱を通した音楽表現に取り組もうとしている。                     |
| 「夏の思い出」 | 5～6月  | 「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりを理解している。またこれらの曲を美しく感動的に歌うために必要な発声や身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。 | 「夏の思い出」を現状に対して、より美しく感動的な歌唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。 | 「夏の思い出」の曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。              |
| 第5番曲    | 5～6月  | 「交響曲第5番」の曲想と音楽の構造や演奏形態、ベートーベンの生涯について理解している。   | 「交響曲第5番」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。              | 「交響曲第5番」が表す背景及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。    |
| リコーダー   | 4～12月 | アルトリコーダーの基本的な演奏技能を身に付け、簡単な曲を表現できる。  | アルトリコーダーで美しい演奏をするために必要な要素を考え、創意工夫している。                   | アルトリコーダーで曲を演奏できる喜びを目指し、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。             |
| 学年・全校合唱 | 7～10月 | 文化祭で学年・全校で合唱発表するために必要な美しい発声、正しい音程での歌唱などの技能を身に付け、表現している。                                   | 現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。         | 学年・全校合唱の練習に対して、パートやクラスで主体的・協働的に参加しようとしている。                |
| 「オペラ」   | 10月   | オペラ「アイダ」の曲想と音楽の構造や演奏形態、使用される楽器やその他のオペラの作品について理解している。                                      | オペラ「アイダ」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。              | オペラ「アイダ」が表す背景や情景及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 |
| 日本の伝統音楽 | 1～2月  | 歌舞伎「勧進帳」の曲想と音楽の構造や、演奏法について理解している。   | 歌舞伎「勧進帳」を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。                 | 歌舞伎「勧進帳」の鑑賞活動や、その背景の理解について、主体的に取り組むことができる。                |
| ギター     | 1～2月  | ギターでコード演奏する技能を身に付け、「メリーさんの羊」を弾き歌い演奏することができる。  | 美しくギター演奏をするために必要な要因を分析し考え、創意工夫することができる。                  | ギターの練習に対して主体的・協働的に取り組むことができる。                             |
| 卒業式     | 1～3月  | 卒業式における「君が代」「校歌」「式歌」の意味を理解し、それらを美しく感動的に演奏することができる。  | 現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。         | 曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。                      |
| 評価の方法   |       | 行動観察、発言、発表、ワークシート、実技テスト、ロイロでの振り返り、定期テストなど   | 発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テスト・定期テストなど                     | 行動観察、発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テストなど                       |

1.美術分野の目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成を目指す。

2.美術の分野を学ぶ意義

- ・生徒の学習を積極的に評価し、学習全般の意義や価値を実感できるようになるため。
- ・生徒自身が自分の学習や仕事の見通しをたてられるようになるようにし、学習や仕事の過程や成果を評価し、自身で改善や学習意欲の向上を図り資質・能力の育成に活かすようにできるようになること。
- ・生徒自身で創意工夫し、自身の学習の成果が円滑に接続されるように工夫することができるようになること。

3.評価の観点について

| 観点     | 知識・技能                             | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--------|-----------------------------------|--|--|
| 趣<br>旨 | 知識：対象や事象を捉える造形的な視点について理解することができる。 | 思考：自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えることができる。                 | 美術の創造活動の喜びを味わい、感じ取ったことや考えたことを基にした表現及び鑑賞の学習活動に進んで取り組めることができる。 |
|        | 技能：意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。       | 判断：主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができる。<br><br>表現：豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する自分なりの見方や感じ方を広げることができる。 |  |

4.主体的に学習に取り組む態度について

- より良い表現を目指して構想を工夫改善すること  
例 アドバイスなども聞きつつ、自分のアイデアをより良くすることに取り組む
- 粘り強く取り組む態度が感じられること  
例 与えられた時間の中で、創意工夫しながら良い作品(良い考え)になるように取り組む
- 美術の知識及び技能を使い、創造活動の喜びを感じ取っていることが確認できること  
例 私たちの社会の中や生活の中に学習を活かすことができる  
例 授業中や学校や社会の中で、作品などを楽しく鑑賞することができる

美術科 2年生 学習計画と評価基準について

|           | 教科書見出し                       | 学習時期   | 知識・技能   | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|-----------|------------------------------|--------|---|--|--|
| 絵画・彫刻など   | 鉛筆デッサン                       | 4月～5月  | 知識：立体としてのものの見方や形体の表し方、質感などを描画材料の特徴を工夫しながら表現に生かしている。<br>技術：描画材料の特徴を生かしながら、ものの立体の表し方を工夫している。                                  | 発想：立体としてのものの見方や形体の表し方、意図に応じた描画材料の生かし方などを工夫し、創造的に表現している。<br>鑑賞：造形的なよさや美しさを感じ取り、描画材料の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。   | 態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものを描く表現の学習活動に取り組もうとしている。<br>態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものを描いた作品から、さまざまな表現の工夫を感じ取る学習活動に取り組もうとしている。  |
|           |                              | 5月     | 知識：かたちや色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、よさや美しさなどを全体イメージで理解している。   | 鑑賞：日本や西洋の美術作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取り、美術文化への見方や感じ方を深めている。   | 態度鑑賞：主体的に日本や西洋の美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。  |
| デザイン・工芸など | ゴッホと浮世絵<br>メッセージを伝える（人権ポスター） | 6月～7月  | 知識：形や色彩、構成などが見る人に与える効果や、造形的な特徴をもとに、伝達のデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。<br>技術：意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 | 発想：メッセージを伝える目的や伝える相手、内容や社会との関わりなどから主題を生み出し、絵や文字などの組み合わせの効果や、わかりやすさと美しさの調和などを総合的に考え、表現の構想を練っている。<br>鑑賞：ポスターなど、メッセージを伝えるデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 | 態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に多くの人にメッセージが伝わるように工夫してデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。<br>態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品の調和のとれた美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組むこととしている。             |
|           |                              | 9月     | 知識：かたちや色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、よさや美しさなどを全体イメージで理解している。   | 発想：作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取り、作者の考えや表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなど、美術文化への見方や感じ方を深めている。   | 態度鑑賞：主体的に日本の絵画や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。  |
| 絵画・彫刻など   | 明日の神話<br>空想の世界へようこそ          | 9月～11月 | 知識：形や色彩などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに、半立体的に表された世界を全体のイメージで捉えることを理解している。<br>技能：粘土、絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追究して創造的に表している。         | 発想：表現意図に応じて形や色の単純化・省略・強調・構成を工夫したり、調和のとれた美しさなどを考えたり、構想を練ることができる。<br>鑑賞：作品のよさや特性などに関心を持ち、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えなどの見方や感じ方を深めている。  | 態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、意図に応じた造形的なよさや美しさや表現するための構想を練り、見通しを持って学習活動に取り組もうとしている。<br>態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫を考えるなどの見方や感じ方を深めようとしている。                    |
|           |                              | 12月    | 知識：形や色彩の構成などが見る人に与える効果を考え、作品を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。   | 発想：作品のよさや特性などに関心を持ち、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えなどの見方や感じ方を深めている。   | 態度鑑賞：友だちの作品や芸術作品を主体的に鑑賞し、作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫を考えるなどの見方や感じ方を深めようとしている。   |
| デザイン・工芸など | 友達の作品を鑑賞しよう<br>遠近法           | 1～2月   | 知識、技能：奥行きのある空間の描き方を身に付け、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考えながら見通しを持って表すことができる。   | 発想：陰影を色彩で表現する方法を身につけ、立体の組み合わせや色の組み合わせなど、立体表現の面白さや美しさを感じながら表現することができる。  | 態度表現、鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現の面白さや美しさを感じながら、見通しを持って学習活動に取り組もうとしている。  |
|           |                              | 3月     | 知識：画材でできる形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的組み合わせの良さや美しさを理解している。<br>技術：絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追究して創造的に表すことができる。                         | 発想：感情やイメージなどの心の世界をもとに、形や色彩などの効果を考え創造的な感覚を体験し、心豊かに表現する構想を練ることができる。<br>鑑賞：造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。   | 態度表現：創造活動の喜びを味わい、主体的に感情やイメージなどをもとに構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする学習活動に取り組もうとしている。<br>態度鑑賞：創造活動の喜びを味わい主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める学習活動に取り組もうとしている。 |
| 具体的な評価の方法 |                              |        | 作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言・定期テスト   | 作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言  | 作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言  |

## 特別支援学級について

特別支援学級では、生徒の実態に合わせて下記のような学習を行います。

### ① 「自立活動」

#### ねらい

個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習や生活上の困難を主体的に改善したりそれに対して対処する方法を身に着けるために、必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を養う。

例：体力向上、コミュニケーション活動、ソーシャルスキルトレーニング、ビジョントレーニング、認知トレーニング、活動の見通しをたてる時間など。

### ② 「生活単元学習」

#### ねらい

生徒が、生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を学習する。

例：園芸、手先の緻密性を高める作業学習、創作活動、調理実習など

### ③ 「教科学習」

#### ねらい

社会に出て、最低限必要な学力を身につける。

例：体験学習などを通して、経験を積み重ね、生活に即した学力をつける。

こくさいきょうしつ  
Q: 国際教室ってどんなところですか？

⇒ A: 外国につながる生徒のみなさんのための場所です。

### 1. 日本に来て間もないみなさん

日本に来たばかりのみなさんには、日本語の授業はもちろん、教科の勉強の支援や母国では学んでいない学習内容の補習、学校生活や行事の事前学習、文化や習慣の違いによる悩み相談など、安心して東橋内中学校で過ごせるためのサポートを幅広く行っています。

### 2. 日本での生活が長いみなさん

日本の生活に慣れていて、日常生活の日本語にはあまり困っていないけれど、教科の勉強の日本語に困り感がある生徒のみなさんには、普通教室での授業のサポートを行っています。



### 3. 日本語能力試験への対応

国際教室では日本語を母語としない生徒のみなさんを対象に、日本語能力を測る「日本語能力試験」の対策も行っています。「日本語能力試験」に合格すると、学校での単位・卒業資格認定や、企業での優遇、社会的資格認定などさまざまなメリットがあり、将来日本の企業で働きたいと思っているみなさんには受験を強くおすすめしています。レベルはN1（幅広い場面で日本語を使うことができるレベル）からN5（基本的な日本語をある程度理解することができるレベル）までの5つで、本校に在学している間には、N3（日常的な場面で使われる日本語をある程度理解できるレベル）を取得することが目標です。今からチャレンジすることで、自分の将来にぜひつながってください。



国際教室は、勉強だけではなく、外国につながるみなさんが困ったときに頼れる場所です。  
困ったことがあればぜひ、国際教室に来てください。

おわりに

この「学習の手引き」を大いに活用し、より充実した学習活動を自主的に展開してくれることを期待しています。そして、これからの進路選択や人生選択において、「自己実現」し、最適な道を見つけ出す力を身に着け、輝く未来に歩み出してくれることを願っています。

## 学習の手引き

---

令和8年5月12日 第1刷発行

---

発行所 津市立東橋内中学校

津市中河原 356 番地 2

TEL 059-228-2624

FAX 059-228-2628

E-mail [j2282624@res-edu.ed.jp](mailto:j2282624@res-edu.ed.jp)